

②地域活動例見学ツアー「北中城村大城地区 花咲爺会」

■開催日時・参加者

日時：平成 28 年 2 月 12 日（金）9：00～12：30

参加者：13 名

■プログラム

9:00	字豊見城公民館集合、説明
9:30	バスにて北中城村大城地区へ
10:00	北中城村大城地区視察
11:00	大城公民館にて意見交換会
12:30	終了

■大城地区視察の様子



■参加者アンケート結果

問1.北中城村大城区の花咲爺会での勉強会では、そのようなことが参考になりましたか。

- ◆「人に見せることは結果であって、先に自分たちが楽しむこと」、「活動参加の少なさを批判しない」という外間会長の考え方に感銘を受けた。
- ◆ムーンライトコンサートなど各種イベントを通して、応援団づくり、ネットワークづくりに取り組んできたことはすばらしい。
- ◆屋敷をセットバックして道路提供するという住民意識と地域活性化の核づくりがマッチしたことがカギ。
- ◆花咲爺会の皆様が義務感や負担感もなく、心から進んで楽しく緑化や景観づくり、芸術の村づくりに取り組んでいること。
- ◆地域への誇り、地域を愛する気持ちで取り組んでいること。
- ◆活動が少ない人、出席の悪い人を責めないことなど参考になりました。
- ◆花咲爺会は無理に背伸びしないで、気楽に美的環境を行っているのが素晴らしい。
- ◆地域づくりに区民が場所を提供することに感心した。
- ◆自分たちが楽しむ、美の中を歩くというコンセプトの下、まちづくり、地域づくりを継続して実施していることに敬意を表したいと思います。地域づくりを日常的にやっているか、キッカケが何なのか少しはヒントをつかめた気がした。
- ◆自然なかたちの植栽がよい。陶器とのナチュラルさがよい。
- ◆花咲爺会の外間会長から経験に基づいた話が聞けてとてもよかった。
- ◆活動の継続のヒントが得られた。
- ◆義務感でやるのではなく、自由参加でかつ自分が楽しくなるためにやるという理念が大事である。
- ◆地域の方々の長年の活動が大きな成果となっているのがすばらしい！
- ◆大城地区の景観への取り組みがすばらしい。自主的な参加で運営していることがよい。

問2.今後、字豊見城の景観まちづくりについて、どのような取り組みをしたいと思いますか。また、どのエリアを重点的にやりたいですか。

- ◆城址公園を生かしたい。例えばハーリー発祥の地、空手道会館、武術交流など
- ◆海軍慰霊塔を生かした活性化。毎年5月 27 日に海友会主催の慰霊祭や県内唯一海自儀仗隊による弔銃発射など国際儀礼に則った慰霊祭が行われている。
- ◆花咲爺会にあたるような「活動グループ」をどうつくっていくか(有志の者たちのグループ)。それがポイントだと思う。それについて、市の支援、指導が必要だと思う。
- ◆隣人、友人と会話を進め少しずつでもいいから花を植えたり、清掃活動を行いたい。
- ◆まずは、自治会用地の井戸等の周辺を緑化することから始める必要がある。
- ◆公民館、自治会用地、集落内にある拝所、文化財等のエリアを最初手がけていくこと。また、マンパワーを集めること、旗振りをする何名かのリーダーの育成が重要となってくると思う。
- ◆今の段階では花を植えること。
- ◆最初にこの有意義な研修を企画したことに感謝します。字豊見城も自治会役員と共に、景観まちづくりの雰囲気盛り上げていきたい。ヒージャーガーの復元とせせらぎ通りを創造すること。
- ◆泉の利用の仕方が参考になった。字豊見城の泉についても、このような利用方法を考えてみたい。
- ◆自治会の土地から活動をスタートすべきではないかと思っている。例えば、ヒージャーガーや川、森、ゲートボール場などで、緑化から取り組みたいと考えている。

問3.その他、ご要望、ご意見などありましたらお聞かせください。

- ◆各団体への呼びかけや協議の上、検討したい
- ◆那覇市の龍潭池通り会の経緯についての勉強会をしたい。